

ぼうさいのとりくみ…ぼうさいマップ

◎わが家の避難場所は…

◎連絡先リスト

連 絡 先	連 絡 先 の 名 前 と 電 話 番 号	連 絡 先	連 絡 先 の 名 前 と 電 話 番 号
父 携 帯			
職 場			
母 携 帯			
職 場		ガス会社	
祖 父 母		電力会社	
祖 父 母		水 道	
親 戚		消 防 署	119
親 戚		警 察 署	110
友 達			
近 所 の 人		災害用伝言ダイヤル	171
近 所 の 人			災害のときに家族や親せき、友達に伝言ができます。 伝言をする 171 → 1 伝言を聞く 171 → 2
学 校			

子どものための防災MAP

自分の名前を書こう



わが家の非常持ち出し

地震が起きて避難する時に、なにを持っていくかを考えよう。

ぼうさいマップは、災害がおきた時に必要な情報が1枚の地図にまとめられています。地震や洪水などがおきたときに被害が想定される場所をあらかじめ知ること、災害に備えることができます。

いざという時のために、ふだんから近くの避難場所はどこか、避難経路はどこが安全か、緊急連絡先はどこか、などを確かめて、わかりやすいところに保管しましょう。最寄りの消防署や交番、病院なども記入しておきましょう。

また、日頃の備えや災害時の心得を記載していますので、大雨や洪水に対する備え、地震時の心得をよく読んで、災害への備えをしましょう。

札幌市でも作っています。お父さんやお母さんと防災マップを見ながらおうちのまわりにどのような危険箇所があるか、避難所や連絡方法などをお互いに確認をしましょう。

ぼうさいのとりくみ…おうきゅうてあて



事故^{じこ}などで心肺停止^{しんぱいていし}になった人を救^{ひと}うには、救急車^{きゅうきゅうしゃ}が到着^{とうちやく}する
までの間^{あいだ}に、そばに居合^{いあ}わせた人^{ひと}が速^{すみ}やかに心臓^{しんぞう}マッサージな
ど^{おうきゅうてあて}の応急手^{おこな}当^{ひつよう}を行う必要^{ひつよう}があります。

心臓^{しんぞう}が止^とまってしまうような重大^{じゅうだい}な事故^{じこ}等は、いつ、どこで、
何^{なに}が原因^{げんいん}でおこるか分^わかりません。心臓^{しんぞう}マッサージなどの救命^{きゅうめい}
措^{そち}置^ちをしなかつた場合^{ばあい}、心臓^{しんぞう}停止^{ていし}後^ご3分^{ぶん}、呼吸^{こきゅう}停止^{ていし}後^ご10分^{ぶん}で50
%^{ぱーせんと}の人^{ひと}が死亡^{しぼう}するといわれてい^{じこ}ます。事故^{じこ}などにあつた人^{ひと}を助^{たす}
けるため^{いあ}には、そばに居合^{いあ}わせた人^{ひと}が応急手^{おうきゅうてあて}当^{おこな}を行うことが重^{じゅう}
要^{よう}となります。

消防署^{しょうぼうしょ}などでは応急手^{おうきゅうてあて}当^{こうしゅう}の講習^{かいさい}を開催^{かいさい}しています。いざという
とき^{こうしゅうかい}のために、講習会^{さんか}に参加^{おうきゅうてあて}して応急手^{ちしき}当^{ぎじゅつ}の知識^みと技術^みを身^みに
つ^つけてお^おきま^ましょう。

ぼうさいのとりくみ…ぼうはんパトロール



ひと がっこう きょうりょく あんぜん かくほ
ちいきの人たちや学校の協力などでちいきの安全を確保

しょうがっこう とうげこうじ みまも つうがくろ あんぜん
するために小学校の登下校時の見守りや、通学路の安全

てんけん ちょうない みまわ ぼうはん かつどう
点検、町内の見回りなどの防犯パトロール活動をおこな

っています。

ふしんしゃ み けいさつしょ がっこう たいいん つうほう
不審者を見つけたら、警察署や学校、隊員へ通報するな

あんぜん
ど、ちいきの安全をまもります。

ぼうさいのとりくみ…ひなんくんれん

^{がっこう}学校でおこなわれているように、^{ちいき}地域のおとなたちも同

^{ひなんくんれん}じょうに避難訓練をしています。

^{ちょうないかい}町内会だったり会社だったりとさまざまですが、^{かじ}火事や

^{じしん}地震などの災害がおこったばあいの避難ルート、避難の

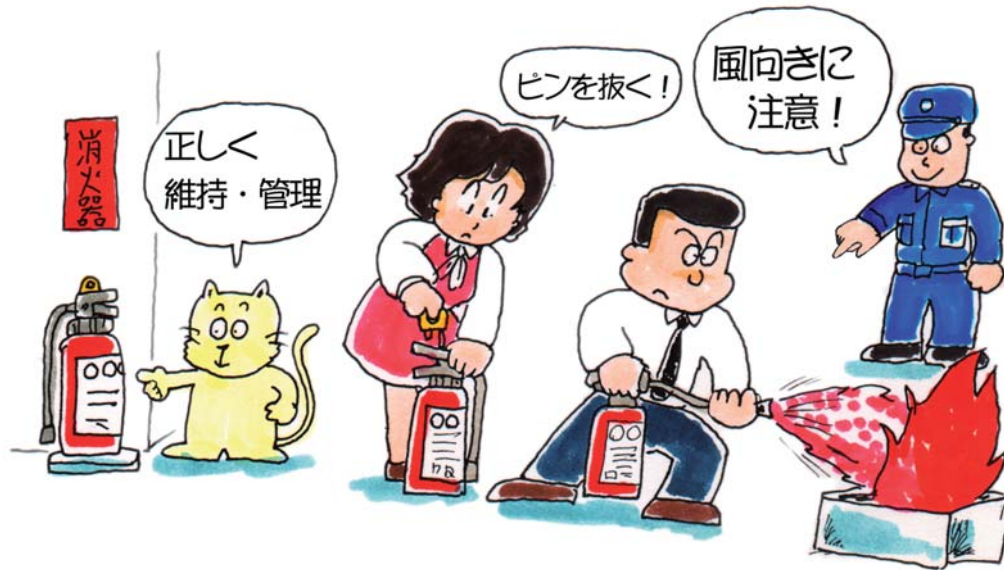
^{ほうほう}方法、^{しゅうごうばしょ}集合場所の確認などを定期的に行う事が大切です。

^{けむり}また煙を吸わない避難方法や避難器具の使い方を覚える

^{たいせつ}ことも大切です。



ぼうさいのとりくみ…しょうかくんれん



かさい はっせい
火災はいつどこで発生するかわかりません。

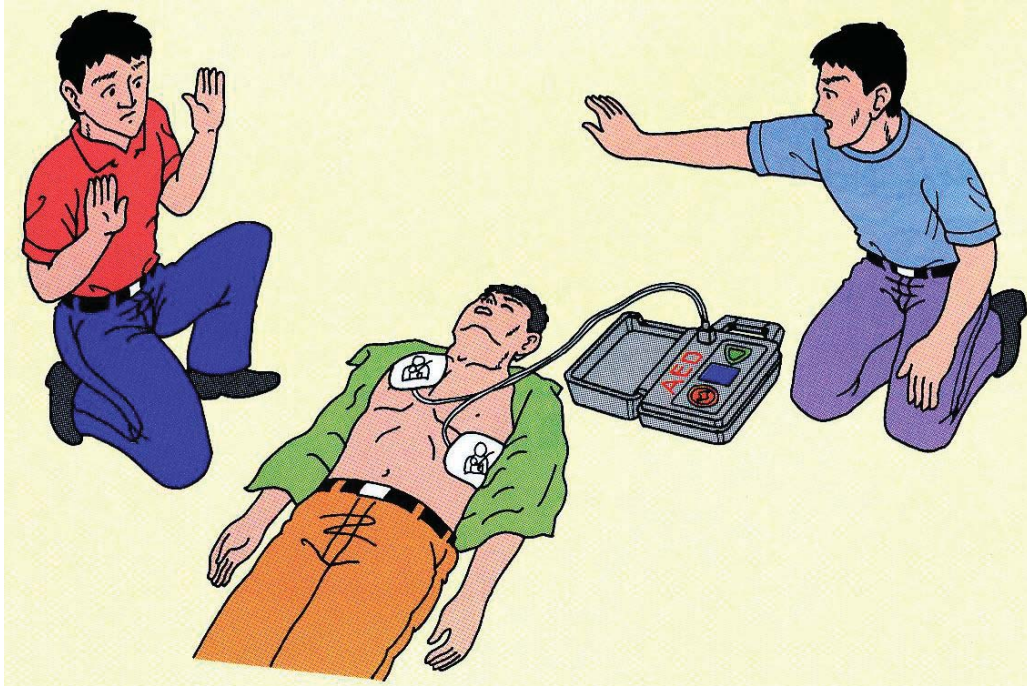
かさい さいしょうげん おさ しょうかき おくないしょうかせん つか
火災を最小限に抑えるために、消火器や屋内消火栓の使

かた おぼ じっさい つか つか かた おぼ
い方を覚えたり、実際に使ったりすることで使い方を覚
えることが大切です。

とき お あんぜん
いざという時のため、パニックを起こさず『安全』で

かくじつ こうどう ひびろ くんれん
『確実』に行動できるよう、日頃から訓練をしましょう

ぼうさいのとりくみ… A E D



A E Dは、「^{とつぜんしんぞう}突然^と心臓^{たお}が止まって倒れてしまった人^{ひと}」の
^{しんぞう}心臓のリズムを、^{しんぞう}心臓^{でんき}に電気ショック^{あた}を与えることによ
^{ふたた}り再び^{ただ}正しいリズム^{もど}に戻し、^{そせい}蘇生^{ちりょうきき}するための治療機器で
す。

^{くうこう}空港^{えき}や駅、^{ふとくていたすう}ホールなど不特定多数^{ひと}の人たちが^{でいり}出入りする
^{ばしょ}場所に^{せっち}設置してあります。

^{きゅうきゅうたいいん}救急隊員だけでなく、^{いっばんしみん}一般市民も^{つか}A E Dを使うことが
できるようになりましたので^{こうしゅう}講習^うなどを受けて^{つか}使^{かた}い方を
^し知^しっておきましょう。